

比較文化学科 2019 年度中期日程入試 英語 講評

I

問 1

本問は、the desire 以下末尾までが、その前にある negative emotions inside me の例示であることが理解できているかどうかを問う問題であり、その例五つを、順に日本語に訳し箇条書きで記せばよい。しかしその例の一つを主語にした訳文を無理に組み立てた解答も少なからずあった。

問 2

概ねできていたが、middle class、male、the withdrawal を理解していない解答が目についた。

問 3

本問は、本文から三つの数値「200,000」、「700,000」、「around one million」を「抜き出す」問題であるが、英語のままではなく日本語に直してしまっているもの、around one million の around を落としているものが散見された。

数値の内容については、200,000 に関して、estimate（見積もり、推計）の意味がとれていることが肝要であるが、「現在、引きこもりになっている人」という解答が散見された。conservative（控えめ、少なめ）はほとんど訳出できていなかった。また、Japanese Cabinet Office（内閣府）訳出できていないものが多かった。さらに、斎藤環による推計を「将来の、予測」とする誤答が少数ながら見られた。

問 4

本問は、答えを英文から「抜き出す」問題であるが、「世間体」と「甘え」と日本語に訳されている解答がいくつかあった。また、これらについて論じられている内容を本文に即して解答することが求められているが、amae を「親から自立ができていないこと」とするなど、本文の説明から若干それた解答は減点とした。

問 5

The longer..., the more の構文の把握は比較的よく理解できていたが、the more aware の the more を「ますます」「より一層」と訳せていない解答が散見された。また、failure を「損失」「恐怖」、aware を「思う」、apart from society を「社会の一部である」などとする誤訳が見られた。

問 6

正解率は低かった。...he runs his own business ... he wanted me to do the same、Don't become a salaryman の意味を理解できていない解答が多かった。

問 7

本問は、下線部を含む that 節が、長い主語 the conveyor belt ~ jobs-for-life と末尾の述語

broke down からなる単文であることが理解できているかどうかを問う問題である。半数以上が正答していた。誤答としては、**places** を動詞と見誤り、これを述語としているものや、**leading to** を述語としているものが目立った。

問 8

よくできていた。

問 9

本問は、**neets** の意味を本文の内容に即して日本語で説明するものであり、(1) 就学中にあること、(2) 就業していること、(3) 職業訓練等にあることの3つが適切に訳されている必要がある。全体的にはよくできていたものの、「良い職にありつけない若者世代や日本経済の低迷を助長させる存在」や「日本経済に寄生するなど、何もよいところのない若い世代」を指すといった、本文には述べられていないことまで含む解答も少なからず見られた。

問 10

them は **the good-for-nothing younger generation** を指すが、それを理解できていない解答が目立った。「若者」や「引きこもり」とだけ書いたものは減点とした。

II

問 1

おおむねよくできていたが、**versions** を「ベルギー版のフランス語／ドイツ語／オランダ語でなく、「フランス語版／ドイツ語版／オランダ語版（のベルギー語）」という誤訳もいくらか見られた。

問 2

lingua franca は異なる言葉を話す者の間の共通語を意味し、文中では **common language** が同じ意味を持つが、**default language**、**official language** という解答が多く見られた。また、**(the) team's common language**、**English** は減点とした。

問 3

よくできていた。ベルギーでは英語は日常的に使われていない／話されていないとした答案がいくらかあったが、問題文全体の文意を考えれば間違いである。

問 4

go-to ないし **go-to option** の意味をとれていない解答が目立った。また、大まかには訳しているものの、**second language** を第二外国語、追加言語、第二公用語などと訳した答案は減点とした。

問 5

「ほとんどのベルギー人選手はフランス語を十分に話せる」「フランス語はベルギーで

広く話されている」「ワールドカップの試合では、英語よりも敵チームに理解されにくい」
「ベルギー・チームには英語をあまり話せない選手がいる」という4点から2点を指摘する問題であり、大半は正解であった。**Belgian** をベルギー人と訳せていないものや一部文意を取り違えている場合は減点とした。

問6

よくできていた。

問7

よくできていた。